

有人離島「飛島」へ復旧人員及び資機材を搬送せよ！！

～酒田海上保安部と東北電力ネットワーク酒田電力センターの災害対応訓練～

～訓練の目的～

飛島（酒田市から北西に約39km）は山形県内唯一の有人離島であり、災害発生時は、住民の生活に欠かすことができないインフラが大きな被害を受けて、社会機能がマヒしてしまうことが考えられ、早期の機能回復が必要となります。第二管区海上保安本部は、災害発生時に迅速かつ円滑な災害応急対策を行うことを目的とした「災害時における相互協力に関する協定」を東北電力株式会社及び東北電力ネットワーク株式会社と締結しており、今回の訓練では、復旧要員及び資機材の搬送にあたり、手続き、手法の確認のほか実際に飛島まで要員等を搬送し一連の流れを確認しました。

飛島火力発電所復旧のため巡視艇べにばなへ資機材及び復旧要員を乗船させ、飛島まで搬送せよ！



復旧人員及び資器材



～訓練想定～

山形県庄内沖を震源とする震度6強の地震が発生。地震により飛島火力発電所の機能が停止し、多数の配電線にも被害が発生した。

巡視艇べにばな出港



離島飛島上陸



～今後について～

本訓練は令和4年から実施しておりますが、今後は夜間や荒天時も含め定期的に訓練を実施することで、相互の理解を深め、連携強化を図り、災害発生時における、迅速な被災地の電気の早期復旧に協力し、地域の安全と安心を守ります。